



基山っ子

基山町立基山小学校 学校だより
第11号 令和3年10月27日
☎92-2431 文責 校長 福山 信代

学校教育目標「きたえ やりぬき まなびあう」

～心も体も元気で、前向き！未来を拓く基山っ子の育成～



地域の方に学ぶ体験学習 少しずつもどってきました！



教室で教師から教わることだけが勉強ではありません。基山には、その道の専門家がたくさんいらっしゃり、そんな地域のプロから学ぶことで、子供たちの興味関心の世界は広がります。現在、感染状況が落ち着いているため、地域の専門家に学ぶ学習や行事を再開しています（もちろん、感染対策をとりながら）。4年生は、総合的な学習の時間で福祉をテーマに学習中。手話サークルこすもす会や社会福祉協議会の皆さんにおいでいただき、手話を学びました。自己紹介を手話を用いて行ってみました。「耳が不自由なことは、見た目では分からない（困っていても気付かれない）」というお言葉が刺さりました。子供たちにとっても、支え合える社会を考えるきっかけになればと思いました。

5・6年生は、福永先生から演舞指導を受けました。基肆城の歴史にまつわる白村江の戦いをモチーフにした演舞で、5・6年で教わるのが基山の新しい伝統となっています。専門家の福永先生の表現に魅了され、次第に役になりきり真剣な目つきで舞う子供たち。体で表現する気持ちよさを体感し、更には平和の大切さを学んだ貴重な時間でした。

地域のことを学ぶ学習のことを「きやま学」と呼んでいます。今後も、5年生稲刈り体験、3年生お茶入れ体験等と展開していく予定です。地域の皆様、これからも、どうぞよろしく願いいたします。



【4年:手話で自分の好きなことを紹介】【5年:演舞 白村江に向かう兵士になりきって】

行楽の秋！修学旅行も無事に

21、22日6年生は、長崎へ。コロナに邪魔されることなく、平和や歴史をしっかり学び、友達と楽しく過ごせた6年生。「もう1泊したいな」という声も聞こえました。学校ホームページ「学校の近況」にも写真をアップしています。1～5年生も、県内各地へ出掛けました。「みんなでお出掛け」に、ふだんと違うわくわくを感じ、きらきらした表情が、たくさんだったそうです。



授業参観で「ふれあい道徳」

保護者や地域の皆様と共に道徳について考えようという取組です。13日の授業参観でも、道徳の授業が、あちこちで行われました。おうちでも、「お母さんは、こっちの立場が分かるなあ」「お父さんも、同じ思いをしたことがあるよ」など、授業の中身を話題にもらうことで、子供たちの見方考え方が多面的になることでしょう。写真左は、5年生、タブレットを用い自分の立場を決め「考え議論する道徳」の授業でした。右は、2年生、「感謝」のテーマで、地域の登下校見守りの人への挨拶を取り上げた授業でした。

